# 秋 高 連 創立十周年記念誌

在京秋田県高等学校同窓会連合会

### 挨拶•祝辞•回想

17 (1)		<b>—</b> ,	. •										
10	周年記念懇	親会風景	• • •	• • •	• •	• •	• •	• •	• •	• •		•	4
挨拶	「十周年を	機に親睦	の度を淡	架めたり	<u> </u>	会 :	長	佐々	木富と	也.		•	8
祝辞	「郷土の発	展のため	一層のこ	ご支援を	を」ラ	秋田.	県知	事(	左々フ	木喜	<b></b> 大治	•	9
祝辞	「東京にあ	る、たの	もしいっ	大応援[	寸」を	秋田	市長	石)	[[] 金	東治郎	凯•	1	O
祝辞	「都会生活	に潤い与	える活動	動に敬,	意」	本荘	市長	柳	田弓	<u>L</u>		1	1
祝辞	「郷土振興	しのための	ネットワ	フーク	に」	湯沢	市長	<u></u> ;	<u></u> 反	<u>言邦</u>		1	2
回想	「秋高連草	創期のこ	と」	-	東京	<b></b>	会	成田	富剂	台郎		1	3
回想	「連絡会時	代のこと	など」		J	東京	雄水	会	芝辻	正		1	4
		:	各校同	司窓会	会の	現	況						
		<u>大館桂</u>	<ul><li>大館</li></ul>	鳳鳴·				1 5					
		小坂·	花輪•					1 6					
		鷹巣農	林・能	代商業	• •			1 7					
		能代北	・能代	西・・				18					
		能代工	業・二 <u>)</u>	ツ井・				19					
		合川・	米内沢					20					
		秋田工	業・中	<b>央・・</b>				2 1					
		秋田南	<ul><li>秋田</li></ul>					2 2					
		秋田北	<ul><li>秋田</li></ul>	<u> 経法大</u>	附属			23					
		秋田商	業・金	足農業	• •			2 4					
		由利・	湯沢・					2 5					
		<u>湯沢北</u>	・湯沢	商工・				2 6					
		角館南	・本荘					2 7					
		大曲・	大曲農	業・・				28					
		横手・	横手城面	南・・				2 9					
			· 第	争	彩	}							
在	京秋田県高	等学校同	窓会会員	[] • •				• 2	9				
各	高校所在地	<u>案内図</u> ・	• • •	• • •	• •	• •	• •	• 3	O				

在京秋田県高等学校同窓会連合会年表・・・・・31

10 周年記念総会 懇親会 風景 平成7年7月17日(月) グランドヒル市ヶ谷































### 「十周年を機に親睦の度を深めたい」

会長 佐々木 富 也

在京秋田県高等学校同窓会連合会(略称=秋高連=アキコウレン)は、佐々 木喜久治・県知事のご要望によることもさることながら、時のニーズに応え、 生まれるべくして、誕生した会でした。

秋田県人としての誇りを背に、この大都会で各界に活躍している高校同窓生の大同団結が出来たら、どんなに素晴しいものだろと、各校の会長が集まり、話し合い、この趣旨に賛同され創立されました。

各校同窓会にはそれぞれ世界的レベル、日本的レベルの誉れ高い人材がおり、 また都会生活では、地域社会、近隣の人達から真面目で純心な県民性の人柄は 高く評価され、両者共私達の大切な財産であり、理想像でもあり、東京ドリー ムなのです。

十年で立派に会も成長させていただきました。このような強く大きい新しい波が、故郷の同窓メンバーと結合したら、どれだけ県勢のために役立つものかは計りしれない、真に確かな形で貢献出来、大輪の花を咲かすこと疑いないでしょう。

故郷と東京は、年々近くなっています。流れる変化の中に即した対応を試み たいと思います。

秋高連もこの十周年を期に、益々個の確立・和の連帯・親睦の度を深め、人間愛に富んだ人間性を目指し、切磋琢磨、努力して行くことを誓うのみです。

祝 辞



### 「郷土の発展のため一層のご支援を |

秋田県知事 佐々木 喜久治

在京秋田県高等学校同窓会連合会が、創立十周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、会員の皆様が、郷土や母校との絆を大切にしながら、出身高等学校の枠を越え、相互に緊密な連絡を取り合って親睦を図るとともに、県勢発展のためにお力添えをいただいていることに対し、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

この十年の間に、世界や日本は、経済・社会の大きな変動を経験しておりますが、本県におきましても、技術革新や国際化・情報化・高齢化といった社会の変化の波が押し寄せてきております。

県としては、秋田県新総合発展計画を策定し、各種の施策を着実に実施するなど、一層大きな社会の変化が予想される21世紀への足固めをしてまいりました。今後とも、県政を取り巻く厳しい環境を乗り越え、高速交通網の整備や県経済の活性化、若者の県内定着など、諸課題の解決に向かっての努力を継続し、本県発展の足取りをより確かなものにしていきたいと存じております。

高校教育におきましても、生徒の多様な個性や能力の伸長と、社会の変化に対応できる人材の育成を目指して、新しい学科・コースの設置など、特色のある学校づくりに力を注ぐとともに、生徒一人ひとりが充実した学校生活を送れるような教育活動の推進に力を入れているところであります。

皆様におかれましては、このような本県における様々な営みについてご理解いただくとともに、今後とも秋田との絆を大切にされ、郷土の発展のため、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のますますのご活躍と、在京秋田県高等学校同窓会連合会の一層のご発展をお祈り申し上げてお祝いのことばといたします。

### 「東京にある、たのもしい大応援団」

秋田市長 石 川 錬治郎

在京秋田県高等学校同窓会連合会の十周年を心からお祝い申しあげます。

貴会は発足以来、会員の親睦と友好を第一にし、情報交換を通じた会員の資質向上に努められ、母校並びに県勢発展に貢献され、現在では45の加盟校を有し、在京県人組織としては、東京地区秋田県人会連合会と並ぶ大組織となっております。それぞれ異なる同窓会を一つにまとめられ、このような大組織にされましたのも、歴代会長をはじめ役員、会員各位のご努力の賜物と、心から敬意を表させていただきます。

皆様方の母校や郷土に対する愛着は一方ならないものがあり、このような大 応援団が東京にあることは、私といたしましても大変たのもしく思っておりま す。

特に、皆様方が培われた人脈や各種の情報は、これまでも本市はもとより本 県発展のため、大きな力となっており、今後とも引き続きご支援ご協力をお願 い申しあげる次第であります。

最後になりますが、この十周年を一つのステップとして、貴会の更なる発展 と会員各位のますますのご活躍を祈念申しあげ、お祝いの言葉とさせていただ きます。

### 「都会生活に潤い与える活動に敬意」

本莊市長 柳 田 弘

このたび、在京秋田県高等学校同窓会連合会が、創立十周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げますとともに、この間、この会の運営に携わられました歴代の会長をはじめとする関係各位のご尽力に対しまして、深く敬意を表するものであります。

昭和57年4月、在京の秋田県各高校の同窓会が情報交換の場として連絡会を 結成され、その後、昭和61年11月に「在京秋田県高等学校同窓会連合会」と改 称して、今日に至っていると伺っております。その間、総会や親睦会を中心に 各校の同窓会間で情報交換を図りながら、組織の充実強化に取り組まれてこら れましたことは高く評価されるべきものと存じます。

とかく都会生活における人間関係は、無味乾燥的になりがちといわれますが、 秋高連においては、同郷・同窓の方々の心のよりどころとして、親睦交流や研修活動を通じて、都会の生活に潤いと活力を与えるべく活動を続けられて、今日を迎えられましたことに対し、深く敬意と感謝の意を表するものであります。 我が本荘市は、昨年市制40周年を迎え、山・川・海の豊かな自然と先人から 受け継いだすばらしい伝統を後世に引き継ぐべく、来るべき21世紀に向かって、 「参加・自主・創造」の市政推進の基本理念のもと「明るく豊かで清新なまち づくり」を目標に、本荘由利広域圏の中核都市として更なる発展に全力を傾注 しているところであります。

ふるさと秋田の発展のために、まちづくりへのご提言などご支援頂ければ幸いと存じます。十周年を契機に秋高連が、各校同窓生の心のよりどころとして、益々ご発展されますよう、また、併せて関係各位のご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。

### 「郷土振興のためのネットワークに」

湯沢市長 二 坂 信 邦

在京秋田県高等学校同窓会連合会十周年を心からお祝い申し上げます。

秋高連は、昭和61年に発足され、この間、多彩な行事を開催するなど、会員相互の親睦を深め、また連帯の輪を広げ、結束を強められていることは、ご同慶の至りであります。また、皆様には、日頃より郷土に対し、ひとかたならぬご支援ご厚情をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、地方公共団体は、住民に身近な社会資本の整備、少子・高齢化等に対応した福祉施策の充実、地震等の災害に強い安全なまちづくり、自主的・主体的な活力のある地域づくり等の重要な政策課題を推進していく上で、ますます大きな役割を担うよう求められてきております。

こうした中、湯沢市を中心とする秋田県南地域の重要課題である山形新幹線延伸早期実現運動の一環として首都圏在住の方々に署名をお願いしたところ、署名はもとより、独自で運動をしてくださるなど多大なるご協力をいただき、まさに愛郷心に燃える皆様の熱意のあらわれと、深く感謝いたしております。

郷土のさらなる振興発展のためには、在京の皆様とのネットワークがさらに 重要となると感じておりますので、今後とも特段のご協力をお願いする次第で す。

最後になりますが、秋高連のますますの発展と、皆様のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

### 「秋高連草創期のこと」

東京鳳鳴会 成 田 富治郎

今年は、在京秋田県高等学校同窓会連合会(=秋高連)創立十周年の記念すべき年に当たるという。そういえば、あれから既に10年の歳月が流れたことになる。「光陰矢の如し」とはこのようなことをいうのであろう。

秋高連の創設は昭和61年であるが、それ以前から在京の高校同窓会をまとめた連合体をつくろうという動きがあり、秋田商業の柴辻正さんらが中心になって、連合会結成の基盤が次第に形成されたのであった。当時は、連絡会という名で何度かの会合を持ったのであったが、丸の内ホテルで催された何回目かの会合で、会の名称、目的などについて多くの意見が出され、大いに盛りあがったことを覚えている。

私はその時、会の目的について「はじめから余り大きい目的、目標を掲げるのは止めた方がよい。えてして竜頭蛇尾に終わることが多い。会員相互の親睦と県勢の発展に貢献するという程度でよいのではないか」と発言した記憶がある。私の意見には、他の高校同窓会の方々も賛同されたようで、その故か、会則の原案作成については、私に一任ということになったのであった。

会則は、昭和61年6月9日に制定され、その後、二度の改正を経て現在に至っている"在京秋田県高等学校同窓会連合会会則"は其の原案に依るものである。思えば、あれから10年余の時間が経過したということになり、いろいろのことが思い出されて懐しい限りである。柴辻さんをはじめ、当初設立に参画された多くの方々はご健在であるが、中には鬼籍に入られた諸先輩もおられ、今日の秋高連の隆昌を見て頂けないのは誠に残念である。

### 「連絡会時代のことなど」

東京雄水会 柴 辻 正

記録によれば昭和56年12月22日に私と秋田工業の谷藤氏が、秋田魁新報東京 支社の森支社長、遠藤編集部長を訪ねて、本会創立について協力を依頼し、そ の後大館鳳鳴・成田氏、横手高・戸部氏、秋田高・金谷氏を加えて2回の会合 を経て、この5名が発起人となって本会の設立を企画した。

初会合は57年4月23日丸ノ内ホテルで開催した。案内状は39校に出したが出席は22校・54名で、出席出来ないが趣旨に賛成する、が4校あった。

当日は発会に至る経過報告のあと、当面の活動方針として①総会などの催し、交流②名簿や会報など発行物の交換③各種研修会の実施④県代表の運動部に応援――などを決め、会の名称を在京秋田県高等学校同窓会連絡会とし、秋田高、秋田北高、秋田工高、秋田商高、大館鳳鳴高、能代工高、能代北高、大曲農高、横手高、本荘高、湯沢高の11校を幹事校とし、当面は私が事務局を兼ねて世話役を務めることで会は発足した。

第1回の総会は、昭和58年1月8日、新宿・小田急「豪華」で開催した。出席者は22校・137名で、本会に対して県並びに関係先から在京県人の有力団体としてその発展を期待され、来賓として次の方々が出席した。県から佐々木知事、篠田出納長、畠山教育長、成田商工労働部長、佐々木観光物産課長、三宅東京事務所長、高橋東京物産観光事務所長のほか、秋田魁新報社、秋田放送、秋田テレビ、秋田銀行、羽後銀行、秋田相互銀行、秋田県木造住宅、秋田木工などの在京代表の方々が臨席された。

この会は、翌昭和59年1月10日、前回同様新宿・小田急「豪華」で開催したが、県東京事務所からの要望により、県人会、経済人、文化人などと合流して、県の新春懇談会として300名規模の会合となり、当会からは22校・159名が出席した。その後、県主催の新春懇談会となり今日に至っている。

第2回総会、昭和59年9月12日、飯田橋のホテルグランドパレスで佐々木知事を迎えて25校・132名出席して開催した。当日の模様は秋田放送により地元秋田で放映された。

第3回総会は、昭和60年10月15日、市ヶ谷会館(現グランドヒル市ヶ谷)で24校・151名出席して開催、製品は県から石塚出納長出席のほか、矢島高・佐藤幸助氏の尽力により県出身の知名人である防衛大学校長・土田国保氏(秋田県人会連合会顧問)の講演があった。この総会終了後、本会の一層の発展を期し、連合会組織に変更され、当時の会計残高424,015円は引き継がれた。

### 大 館 桂 高 校

「かつら会東京支部」

支部長 真壁 貞子

秋高連創立10周年おめでとうございます。よく「この世のならひ」という言葉がありますがなぜか 秋高連は誕生すべくして誕生した連合会ではないでしょうか。世の辛酸をも含めて同じ故郷を共有し ているんだという実感が心地よくたかぶって参ります。まるで螢の世へと迷いこんだような味わいも あるのです。10周年とはけっしてなめてはいけない貴重な歳月と存じます。かつら会東京支部は平成 8年には創立40周年を迎えます。まだまだ戦後の混乱が続いている最中での誕生です。現在の会員数 1200名、会則に従い順調に歩幅を重ねております。私共桂高校の校訓として「誠実・温容・勤勉・自 主・奉仕」と5つあるのですが実は最初のころは3つの校訓の時代がありました。それが昭和26年高 村校長の時に2つ付け加えられたのです。それが「自主と奉仕」だったのです。現代であればこの自 主・奉仕を抜いては生きられない、いや生かしてもらえない時代なのです。これから21世紀に向って この言葉抜きでは生活できないのです。今考えるとあの混沌とした時代に、早や時代先き取りの精神 を校訓として会得していたことになるのです。この確かな足跡を誇りとして微力ながらも秋田県故郷 への懸橋とでもなればと念じております。そしてこれが本当の「この世のならひ」なのではないので しょうか。

### 大 館 鳳 鳴 高 校

戻る

「東京鳳鳴会」

副会長 上 藤 禮次郎

本会の名称「東京鳳鳴会」は、戦後の学制改革で秋田県立大館中学校から大館鳳鳴高等学校に変わった現学校名の「鳳鳴」に由来する命名です。

学制改革以前の大館中学校の時代も、現在の会の前身にあたる「大中会」あるいは「在京大中会」の名称を持つ同窓会の組織は東京にありました。現存する記録によれば、昭和16年頃には、大中第1期卒の山田康友という方が会長で、31期卒位の方までの年代の幅の方々が役員となっております。

初期の頃は、現代の同窓会の在り方とは少し趣を異にしていて、母校を同じくする者同士の親睦を求める会というよりは、むしろ卒業してから進学や、職を求めて東京へ出てくる後輩たちの"面倒をみる"ことに、力点が置かれた会であったように、今は故人になった先輩から聞いております。特に、就職する後輩には、職はもとより、時には衣・食・住の生活の全ての世話をすることも、まれではなかった、ということでした。

現在は、親睦を主眼にした同窓会という在り方になっています。氏名を確認している在京の同窓生は、およそ2,200人で、住所まで分かっている数となると、その約80%の1,700人(総会の案内を郵送する数)程です。年一回の総会・懇親会には、250人前後の出席があり、会員は、一夕の歓談を、翌日からエネルギー源充電の時間としています。

### 小 坂 高 校

#### 「東京支部」

支部長 田 村 敏 男

小坂町は秋田県の最北端に位置し、明治初期から鉱山町として発展して来ました。高校の創立は県内でも早い方で、大正5年(1916年)4月10日町立実科高等女学校として誕生、その後、戦後の学制改革で男女共学の高校となり現在に至っております。

同窓会東京支部は、昭和57年に誕生し13年を迎えました、総会は隔年毎に開催し会員の親睦を深めています。会員は、約1,500名が登録され、総会には関東全域に加え仙台、大阪周辺からも出席し毎回200名を越える仲間で盛会裡に実施しています。

参加する年代も、80代から20歳前後と幅広く母校の歴史の重みを感じます。親子以上の年齢差の人達が違和感もなく、ごく自然に再会を喜び合い、人生の貴重な成長期を過ごしたふるさとを偲び、仲間の両親、兄弟姉妹の安否を確かめ共に楽しみ、苦しみ、笑って、泣いた想い出を語り合い3時間の寝は終ります。

総会には、学校長をはじめ同窓会長や町長も出席し、母校や町の最新情報を話され総会を盛り上げてくれます。

参加者は、人情深いふるさとを離れて暮らし、地元の情報に乏しく日頃隣近所との交流もなく、孤独感になりがちな都会生活のカンフル剤になっているようです。

また、名刺を交換し偶然に取引関係の社員と知り、居住地が同地区であったり意外な発見に出会い、その後、仕事上で互いに助け合い、居住地で交流を深める人も多いようです。

今後も、ふるさとを離れ都会で暮らしている会員の交流、親睦の場として支部の充実強化に努めます。

### 花 輪 高 校

「鹿栄会」

戻る

会長 倍 當 和 子

鹿栄会という名称は、高校の所在地、鹿角が栄えるようにとの願望を表わしています。実科女学校から発展してきた私達の母校花輪高校の同窓会の、首都圏支部の役割を果たしています。その母校も来年は創立70周年を迎えます。共学になって最初の卒業生は、今年度中に63歳になります。この年齢構成からみて、時間がある先輩の大部分は専業主婦だったことになります。年会費を徴収せず、会の運営を自発的な寄付に頼っている鹿栄会にとって、大口寄付などをお願いできる、いわゆる名士はおりません。しかし、かえってそのようなボスに気兼ねすることなく、心のこもった寄付をして下さる大勢の会員の支持の上に、民主的運営を行なうことができます。ただ、秋高連の総会や役員会の会費の大部分を役員自身に負担して貰っていることは、会長として心苦しく思っております。

会長としての私のささやかな希望は、できるだけ早く、コンピュータ操作ができる会員に書記局に入って貰い、現在、「老化防止」とかの有難い心遣いにより、趣味と実益を兼ねた私のコンピュータで、私が操作している会員情報などを移し、書類や名簿、ラベル作りから解放されることです。

### 鷹巣農林高校

#### 「伊勢堂会」

幹事長 茂 内 勉

我が校は、明治42年3月北秋田郡立農林学校として鷹巣町七日市(旧七日市村)に開設され、時代の要請により、大正元年に秋田県議会において郡立農林学校を県立へ移管、鷹巣町に移転が決議されました。その後生徒数の増加や学科目の増加により、昭和23年学制改革の変遷等を経て今日に至っております、従って平成10年には90周年を迎えるわけでございます。

本校の特徴は、県内唯一の林業科です、秋田杉の本場ということで県外からも入学する人が多く、 育林・林業経営・測量・木材加工・林産製造等種々な分野の知識と技術を習得し、また農業科は充実 した実験室や順化温室などバイオテクノロジー施設で基礎勉学にいそしんでおります。

進学・就職でも好成績を収めており、公務員林業職の二次合格者は、四年連続全国一です、都庁や 県庁の合格者は県内一です。

今夏クロカン期待の星として、県スキー連盟と県高体連合同による海外遠征合宿に、鷹農スキー部から三名がワールドカップの開催地でもあるオーストリアのラムソーへ派遣されました。氷河の万年雪上で年中トレーニングが可能なスキー場です。ここ近年低迷をつづける本県スキー界にたいし「秋田のスキーは、戦前からの名門鷹巣農林が強くならねば」の声が他県の関係者間からも多く寄せられ鷹農スキーの強化発揚が期待されております。

秋田県立鷹巣農林高等学校・東京同窓会「伊勢堂会」は、本年関東在住2000名の同窓生を抱えて、 第20回記念総会を10月に四谷駅前「スクワール麹町」にて開催を決定しております。

鷹巣農林東京同窓会「伊勢堂会」万歳。

戻る

### 能代商業高校

#### 「東京支部」

会長 安 岡 政 勝

能代市立能代商業高校同窓会東京支部の近況を御報告申し上げます。

能代市立能代商業高校同窓会東京支部は本年度の総会並びに懇親会を、11月12日中野区東中野の日本閣に於いて開催致す事になっております。

現在約800名の会員に案内状を送付致しており多数の参加を望んでおるところです。当日は、郷里から本校の校長先生他数名の先生、同窓会本部より数名、能代市関係各位より数名、来賓として出席をお願い致して居ります。

又同窓会活動の一貫として市内の他校、能代北高校、能代高校、能代工業高校、能代西高校は元より他に、秋田商業高校、鷹巣農林高校の東京支部各位にも来賓として多数の方々の出席を頂き親しく交流を致したく御案内状を差し上げた所です。近い将来能代五校で合同の同窓会を開催致したいとの提案もあり、早い機会に実現出来る事を期待致しております。

只今申し上げました各高校との交流は秋高連に参加をさせて頂いてから実現致した次第です。この場をお借り致し厚く感謝を申し上げます。今後も他の多くの高校の方々との交流もお願い致したいと思っておりますので、何卒御指導御鞭撻の程をお願い申し上げます。

### 能代北高校

#### 「東京支部」

石 渡 澄 子

東京支部は年に一度の総会と会報の発行、新同窓生の激励会が行事となっています。

3月に親元を離れた若い人達が、心細い思いをしているのではないかと、40年位前から在京の先輩が手料理で3人、5人と「はげまし会」をしたのがことの始まりでした。その後、進学就職と中央に集中するようになり、いつの頃からか、学校が主催となって毎年5月に激励会を開催しています。学校長を先頭に担任や就職指導の先生まで、我が子を手離した親のように、新しい生活にどのように順応しているか対応していました。今年は不況の影響が大きく、卒業生は東京地方ばかりではなく北海道や東北への他県へと分散されているそうです。

総会は当番幹事制をとり、54歳になるとその年の総会と進行を担当します。懇親会はその年の幹事のアイデアで自由ですが、今年は、セピア色のアルバムから――制服の移り変り、として、昭和8年頃から現在に至るまでの時代を反映させる写真をスライドにしました。言葉では表現出来ない日本の国政、経済を一枚の写真が語っていました。

同窓会は一部の人達だけに荷を背負わすことなく、当番幹事が終っても少しでも分担し合う努力を しています。年代を超え、人との出会いがあり、その幅をひろげてゆきたいと思っています。

### 能代西高校

「関東同窓会」

戻る

会長 友 成 穂 秀

県内の西北に位置する能代市郊外の広大な東雲台地に母校・能代西高等学校が聳えている。10月13 日には創立50周年記念式典が厳かに挙行された。

母校の現況の一端を創立からの沿革をも混じえて紹介したい (新校名のPRも兼ねて)。

昭和20年能代女子実業学校(農業科、商業科)認可。昭和23年秋田県立能代農業高等学校と改称。 昭和40年文部省より自営者養成農業高校の指定。平成6年秋田県立能代西高等学校と現在の校名に改 称。普通科を新設して農業科学科、産業技術科の3学科制に。能代山本地区の農業振興と後継者養成 を主体とした旧能代農高時代から21世紀の人材育成へと大きく教育の軸足を移した証である。今年は 冒頭にも触れたが、日本の戦後50年が奇しくも母校の50周年でもある。

創立50周年記念式典が学校及び地元関係者が一堂に会して盛大に催され、21世紀での飛躍を誓って会場は大いに沸いた。在校生430余名は校訓「勤労至誠」を胸に日々研鑽。平成9年3月には新校名下で初めての入学生が卒業年次を迎える。近年ウエートリフティング部、自転車競技部(男子)、バトミントン部(女子)の活躍が目覚しく運動部の期待も大いに高まっているのも楽しみだ。

母校卒業生の総勢は6400余名。そのうち関東地域に600名程の同窓生がいる。毎年5月下旬頃、校 長、本部同窓会長等を東京にお迎えして、新卒者で関東地域に就職した卒業生激励会兼関東同窓会総 会を催すのを慣例としている。30年近く細々乍ら脈々と継続し得たのも秋高連及び在京能代五高会の 御厚情の賜物と感謝している。

ιυ

### 能代工業高校

#### 東京地区支部 「東籟会」

会長 能 上 進

昭和28年に有志が集り同窓会が結成され、昭和40年代に約10年程の中断もあったが、当時の役員達の努力により事務局の充実を図って昭和51年より再開され、現在に至っております。

活動内容は、年1回の総会(9~10月開催)と、年末の全国高校バスケットボール選抜大会の応援 を柱として、役員会に於て活動方針が決められ、幹事長を中心とした事務局幹事が運営する体制にし ております。

総会には、学校長や教師、同窓会長等約10名程の出席があり、能代市長をはじめ能代地区の各校同窓会の方々にもご臨席を賜り、120名前後の参加があります。

悩みは、若い会員の参加が思うように伸びないこと、および母校ならびに郷土の発展に寄与したい と願いながらも、具体化されていないことです。

3年前より、年会費による運営資金調達を提案し、多くの会員より賛同が得られたので、本年(平成7年)は名簿を発行(無料)することが出来ました。今後も会員の意見が反映される、開かれた同窓会を目指したいと努力しておりますので、宜しくお願いいたします。

### ニッ井高校

戻る

#### 「東京支部」

#### 支部長 菊 池 千 春

昭和39年4月能代高校より独立、二ツ井高校が開設して昨年が30年の年にあたり、我が母校では30周年記念式典が盛大に挙行されました。その30周年に花を添えるべく校舎が平成4年に全面的に新装され、在校生を始めとする我達卒業生に喜びとともに、本校の飛躍の機会を与えられたことに深く感謝しています。

同窓会においてはやはり母校が中心として動いており、歴史の中に根付くまで心配で気になるところです。

さて我が東京支部は平成元年に旗揚げをしそれ以来私が支部長の任を受けていますが、組織的に未熟で手探りの状態であることが、正直なところです。その組織運営については、能代工業高校の斉藤智さんと藤田秀夫さんから実質的なアドバイスを受け、時に挫けそうな気持になったとき、もう一寸頑張ってみようかなという勇気をいただいております。本年度の総会は10月28日(土)モノリス29(都庁近く)で行なわれましたが30名程の出席があり、どうにか来賓として来ていただいた本校の校長先生、同窓会顧問の先生達に面目が立ち、安堵の心を得ているところです。

今は小さくても育って来たその輪を大事にして次世代の人にその任を渡してやれる様、現在は努力

### 合 川 高 校

#### 「関東支部」

支部長 村 岡 吉 雄

秋高連10周年記念総会が盛大に行なわれましたことを心からお喜び申し上げます。また関係者の御 尽力に深く感謝いたします。

我が合川高校は昭和37年に開校してから早や33年目の秋を迎えておりますが、諸先生の御努力や地域社会の御支援により、地域社会に根づいた高校として、日々発展しておると聞き及んでおります。

同窓会活動は、秋田県外では関東と関西に支部を設けておりますが、第一期卒業生でも年齢が50歳にとどかず、多くの卒業生は各職場の第一線で活躍しており、新たに事業を起した人達には今が正念場、家庭でも、子供の事などで最も忙しい時期ではなかろうかとも思います。そのためか、同窓会活動になかなか手が回らない面もあり、何度か同窓会を企画しましたが、思ったほど人数を集めることができず、時期や企画に今一つの工夫が必要かと考えておりました。

今年から秋高連に参加させていただき、他校同窓会の活動内容を知る機会を得て、今後の同窓会活動の参考にさせていただきたいと思っております。今後、皆様の御指導のほどよろしくお願いいたします。

戻る

### 米 内 沢 高 校

関東支部 「爽風会」

会長 松 岡 利 男

風さわやかな朝明けの 森吉山の気高さに

若い理想染めて立つ・・・・。

これは我が母校の校歌の一節であるが、多情、多感な、そして希望に満ちあふれていた高校時代を 終生忘れないように、1年に1度ぐらいは気心の知れた同志で、歌い、語り合う事も人生楽しいでは ないか、そして一人でも仲間を増やしつ、、若い世代に引き継いで行こう。

このような趣旨で、同窓生なら一目で校歌の歌い出し、イコール我が母校を連想出来る様にとの思いを込めて名付けられたのが会名[爽風会]であります。

行事としては、諸先輩および、役員幹事のご尽力により支部結成の1971年(昭46)以来、山あり谷ありではありましたが、年1回の総会が平均80余名の出席のもと毎年盛会に行なわれており、また、年に数回の役員会、幹事会、親睦会、そして秋高連全体総会に至っては、ほぼ10割に近い出席率で参加できる様になってきた今日、結成以来の念願でありました[小粒ながらもキラリと光る組織]が、少しでも浸透してきたのではないかと、いささか自負している次第です。

今年10月に挙行される、母校創立50周年記念式典におきましても、20名の参加を予定しておりますので、この機会をステップに、尚一層、人との出逢いを大切にした組織の充実を図りたいと考えております。

最後に我が [爽風会] 共々 [秋高連] の益々の繁栄をお祈り申し上げます。

### 秋田工業高校

#### 「東京秋工会」

会長 澤 木 誠 一

私共「東京秋工会」は関東一円を対象とし、約2千人の会員を擁し、年1回の総会を開いて会の活 性化を図っております。

同様の同窓会支部は秋田県内の他、関西、関東、北海道、岩手、仙台等に多数設けられています。 母校は昨年創立90周年を迎えましたが、東京同窓会も、戦前に迄さかのぼる長い歴史を有しており ます。それと申しますのも我々同窓生は70年の伝統を誇り、全国優勝15回、準優勝6回の最多優勝校、 最多出場校としての「ラグビー」というスポーツで大きくまとまっていたからだと思います。

然しながらスポーツでは「ラグビー」のみならず数多くの分野でも活躍しており、また、名選手を 輩出していることは皆様も御承知のことと思います。

例えば、体操金メダリストの遠藤幸雄氏、野球の落合博滿氏等、また、芸能界では俳優の森幹太氏 等枚挙にいとまがありません。

私共の学校は昭和28年迄は男子校でありましたがその後男女共学となり、女性会員も増え同窓会も大変にぎやかになって参りました。平成5年度からは年1回会報「KANASA」を発行し会員の横の連絡を取るようにしており、その他年2回のゴルフ会を始め、会の発展を図るよう色々なイベントを企画し、役員一同頑張っております。昨年の9月30日には母校の90周年記念式典に合わせて秋田椿台カントリークラブで当会より20名、秋田の本部同窓会より30名の合同ゴルフコンペを開催致しました。また、「秋高連」の年1回の全体総会にはなるべく若い人が出席するよう推めていますが、同窓会

「秋高連」結成10周年の節目にあたり、私共同窓会も色々と他校同窓会に教えを乞い前進したいものと念じております。

に若い人を参加させることが如何に難しいかは皆様御承知のとおりと思います。

### 中 央 高 校

「東京一交会」

戻る

島崎勝子

秋田県立中央高校同窓会東京一交会を紹介します。

本校は共学制です。従って会員も世代によりますが女性の参加があって、和気あいあいの中に会の 運営が行われております。

本会の主たる行事は毎年開かれる総会と親睦パーティです。本校学校長、本部同窓会会長、恩師、 来賓のご列席を頂いて150名から200名前後の出席数で、本年も11月18日第12回総会を開催します。

ゼネレーションギャップをそして価値観を超えて同窓のきずなが一そう深まる事を期待している所です。

本校は土崎町立実科女学校——秋田市立高等学校(共学)——秋田県立中央高校となって平成9年、 開校75年の創立日を迎える事になります。

### 秋 田 南 高 校

#### 「東京支部」

支部長 立 花 克 憲

秋高連10周年お目出とうございます。

戦後50年の節目にあたる今年は、秋高連の10周年、また私の母校の同窓会が同じく30周年を迎えた 年でもある。

今日まで経た歳月を、10年のタイムスパンで考えてみると、人間社会の営みが様々な歴史を刻み、 現在に至ったことに気づき、あらためて感慨深くさせられる。

ところで、秋田南高校は昭和37年に創立した比較的若い学校でもあるが、卒業生の数は今年の3月で約13,500名に達した。

また、東京支部は、昭和55年に発足して15年目を迎え、会員数は約1,300名程で、全卒業生の一割を占める。本会の総会は2年に1回開かれ、今年の4月に、第9回支部総会が参加者約80名を集めて盛大に開催された。総会では、スピーチをマスコミ・芸能・音楽・スポーツ等の分野で活躍中の同窓生に依頼したり、仕事で特技を持つ人に、その場で披露してもらったりしているが、このことが会場をくつろいだ雰囲気にし、参加者の同窓生意識を自然によみがえらせてくれるような気がする。また時間の経過と共に会話が弾み、打ち解けてくるとお互いの異業種交流が盛んになり、種々の情報交換も行なわれているようである。

これも「オラホの学校の仲間」というバックボーンがあるからだと思うが、手応えやメリットを一番感じているのは、参加者自身ではないだろうか。

私の望んでいる同窓会の意義も、そこに集約されるが、基本的な考え方として①卒業生が再びめぐり会える出合いの交差点であること②異業種交流の場であること③心のオアシスを得ることのできる場であること——この3点である。

今日までこのことを念頭に運営してきたが、今後も、同窓会の良き伝統の維持・発展に尽くして行きたいと思う。また併せて、各校在京同窓会支部の頂点に立つ秋高連が21世紀に向けて、益々発展されますことを心からお祈りいたします。

### 秋 田 高 校

戸ろ

#### 「東京支部」

#### 支部長朝 倉俊夫

秋田高校同窓会東京支部の誕生は戦後数年後に当時の国鉄総裁であった長崎惣之助氏他数人が発起 人となり発会し、初代の支部長も同氏が暫らく務められたと聞いている。以来私迄4、5代の支部長 が変った。特に前支部長の金谷勇氏は永年に亘り支部長の重責を担い支部の興隆発展に寄与された。

又金谷氏は秋高連の初代会長も努められ、今回の秋高連発展の基礎をつくりその功績は大と云える。 私は平成3年金谷氏からバトンを受け今年で5年目となるが、伝統校秋田高校同窓会東京支部の運営 には日々苦心、努力をしている次第である。

母校も平成5年には創立120周年を迎えることができた。その一貫として学校側と連携し在校生(1、2年生を中心に選抜された40名)の東京研修の実現を成功させることができた。特にその際の歓迎夕食会では各界で活躍している先輩同窓会員から歓迎と激励の言葉をいただいたりもした。又本年はかねてより懸案であった東京支部の同窓会員名簿を改訂、増刷し登録全会員に配付することができた。なお支部は支部長、幹事長以下役員10名で構成され支部総会は年1回役員会は年2回を原則として開催している。

今後とも秋田高校の輝かしい伝統を維持してゆくため、支部役員諸氏とも話し合いながら微力であるがマンモス支部の発展に一層努力をしていきたいと考えている。

### 秋 田 北 高 校

#### 「あげまき会東京支部」

東京支部長 牧野博子

あげまき会東京支部ではこの10月21日に、アルカデア市ヶ谷に於て、支部総会を開催予定、会員722名に総会通知を発送し、現在出席の返事を待ち、少なくとも120名位あってほしいと願っておるところです。

私共の役員会は18名(現在)で構成され、分担された部署で仕事を処理いたしております。

元来ボランティアの形で進められて参りました役員会ですが次第に難度を高めて参りました。交通 事情が一番はじめに処理されたものです。

又年一度親睦の為の旅行会が計画され今年は6月に山形の立石寺に詣で、天童のいで湯で足を休め 2日目は、最上川を舟で下り、山の中を通る自動車道を楽しみ、寒河江で休み、山形より電車で帰京 しました。私共のことばかり述べて参りましたが、秋高連十年の歩みあっという間のことのようです。

執行部の方々の御苦労も解せず足利の旅の思い出、群馬の山中の古城から谷川の天神平、ここから は山の尊厳さを見た思いでございます。

再び執行部に感謝を捧げ、益々のご発展とご活躍をお祈り申しあげます。

戻る

### 秋田経法大附属高校

「関東支部会」

会長 近藤 正司

秋高連結成10周年を迎えましたことは誠に記念すべきことであり、心から慶賀にたえないところであります。

本関東支部も昭和56年2月14日、日本閣(東京・東中野)に初総会を開催して以来毎年総会、懇親会を開催してきました。

このことは会員各位の努力の積み重ねとご協力によって着実な発展を遂げ充実してまいりました。本会の結成の切っ掛けは丁度その頃高校野球秋季東北大会で母校が初優勝し秋の神宮大会に選ばれ晴れの桧舞台の試合がありました。結果は惜しくも敗退しましたが幸いにしてこれを機に同窓生の気運が高まり『附高ここにあり』という感動した中で設立準備が進められました。それ以来今日まで毎年総会・懇親会を開催し年次によっては50名程の出席者で行ったこともありました。

しかし関東支部会を結成した時の闘志と情熱を胸に刻み、いつまでも支部会の明りを灯すためにも 関係各位の深いご理解で役員共総力を結集して頑張って参りました。

特に最近の総会、懇親会の出席者数は90~100名にもなり嬉しい悲鳴を上げる程です。

今後も同窓会員の仲間との出合い、絆を大切にしていきたいと考えています。

### 角館南高校

#### 角館南高校 「駒草同窓会東京支部」

支部長 櫻 田 せつ子

私ども秋田県立角館南高校の駒草同窓会東京支部では毎年一回母校と一体となって、新入会員歓迎会を兼ねて「ふるさと」を懐かしむ会合を開いていますが幹事の皆さんはとても大変です。先ず親睦会の後始末から始まります。本年度の反省事項を具体的にかぞえ上げ、その上で来年度目ざすべきテーマを協議し、本年度の御来賓や会員皆さまのスナップ写真を仕分けして郵送いたします。次に来年度の日取り、時間、会費を交渉し確定し、新入会員歓迎会の案内状を本部事務局に郵送して配布をお願いします。次に新入会員歓迎会のポスターを作成し、この掲示もお願いします。尚支部長を新入会員入会式に出席させ上京する会員を歓迎する挨拶をさせます。

次に段取りが次第に固まった処で幹事会を開いて本年度同窓会の役割分担を決め会員宛案内状発送 の手配をいたします。

母校事務局から送られて来た新入会員名簿を参考にして各人に電話します。そしてリーダーを捜し て会当日の打ち合わせをいたします。

今年は一寸したエピソードがありました。

新入会員が不在でしたので、上司が出られ、会の趣旨その他を話しましたところ、その様な会だったら私の方から本人へ話し必ず出席させますとの話がありました。当人が出席したのは勿論でありました。その様な積み重ねから出席率が良い事になるのでしょう。

その他同郷の角館高校(東京若杉会)のご支援を頂いておりますし、「郷里」の角館町役場のご助力も並み並みならぬものがあります。

僅か3時間たらずの事ですが、どうしたら「母校」を「ふるさと」を懐かしんで下さるかと皆様の お力添えを頂きながら努力しているのが実情であります。

### 本 莊 高 校

戻る

「東京同窓会」

#### 支部長 荒川 七郎

昭和11年春県立本荘中学校東京支部結成され、初代支部長中江繁治(1期・故人)2代支部長森岡謙治(11期・故人)と続いた東京支部も戦争を境に中断されたままとなっていた。戦後再建の機運が盛り上がり、約2年間の準備活動を経て漸く昭和41年に葛西清一(18期)3代支部長として、本荘高校東京同窓会と改名し、戦後第1回総会、懇親会を目黒雅叙園に於て開催しました。学校並びに同窓会本部の協力を得て会を重ねるごとに盛会となってきました。昭和49年より荒川七郎(33期)を4代支部長として今日に至っております。

支部活動としては年1回の定時総会・懇親会を中心に毎回目黒雅叙園にて会合を開き、会員相互の 親睦と交流を図り、外に向っては由利ブロックの各校(由利・由利工・矢島・西目の各高校)の支部 長をご招待してお互いの横の連携を密にするなど幅広い交流を行っております。更に昭和57年から発 足している秋高連にも初期から参画し、秋高連を代表して世話人の柴辻正氏(秋商高)をご招待し、 秋高連の発展のため更なる協力活動を続けております。また7年前に発足した在京本荘ふるさと会に も積極的に協力態勢をとっております。これからも皆様方との融和を図って、この輪を更に広げるべ く努力し、母校創立100周年も目前に迫っているし、期待に応えたいと存じております。

### 秋田商業高校

#### 「東京雄水会

東京雄水会

東京雄水会は、昭和46年10月に中絶としていた総会を四谷・自治労会館で再開してから、今日迄一回も休む事なく開催して参りました。会員各位の協力の賜物と思われます。

秋商連10年史の発刊に当りまして改めて当会の紹介をさせて頂きます。

1. 総会について

総会は、毎年6月の第一土曜日午後5時開催と決め、行っていたのですが、前回から平日に切替実施した処、心配をよそに、今迄より多い参加を見た。特に若い会員の参加の増えた事、また当日のイベントとして、会員のご厚意のもとに各界よりの経験者等の講演を行っている。

2. 新卒者指導懇談会について

総会に先達し、会場内に別室を設け、学校側によって、今春の卒業者(就職、進学)の再指導懇談会を行い終了後に総会に合流し、毎年の行事となり新人の若さと情熱で当日の会を盛り上げている。 3. サッカー応援について

会の年中行事は正月の高校サッカー選手権大会の応援に始まります。寄付金は勿論、当日会場での 熱い応援を行っています。

- 4. 当会には次のサークルがあります。簡単にご紹介致します。
- (1) 俳句会

東雄句会と称し、毎月投句、選句を通信で行い、春に総会、秋の吟行(1泊)実施時には、本部の 句会と交流懇親句会も開催している。

(2) ゴルフ部

雄球会と称し、昭和63年10月以来、春秋二回のコンペ大会を行っている。

(3) 観劇会

秋商に縁のある、浅利香津代、鈴木光枝、佐々木愛の芝居が、主流となっていますが、特に秋高連の皆様にも御協力頂きまして改めて感謝申し上げます。

(4) 旅行会

会が企画し年一回の開催ですが、会員以外もの方も自由参加の出来る1泊旅行を実施している。

(5) 卒業50年以上の会

卒業50年以上の OB 会です。年一回集りキリタンポ、秋田の酒で一夜の青春を謳歌しています。 最後に秋高連も早や10年の歩みを刻んで参りましたが益々の隆盛と発展を心から祈念申し上げます。

### 金足農業高校

#### 「在京同窓会」

戻る

#### 事務局長 渋 谷 孝 男

私達の母校は、昭和3年に南秋田郡34ヶ町村の熱烈な要望によって、地域社会の中堅として土に生きる農業自営者を育成するため、県中央部の県立小泉潟公園の湖畔に位置する美しい郷、聖農石川理紀之助翁生誕の地、金足に設置されたものです。

現在は、農業科の他に6学科があり年間300余名の卒業生を数え、同窓生の数も2万名程となっております。

。この様な環境の学舎で、各種の農業技術の習得はもとより、スポーツ活動も盛んで、駅伝、相撲、 野球など伝統があります。

在京同窓会は、戦後の高度経済成長期、そして産業構造の変革等によって故郷を離れ、首都近県に 職を求める仲間も次第に多くなる中で、当初は各クラブ同好者、同期生同士の集いで小規模なもので したが、11年前に母校野球部が夏の甲子園大会に出場し、ベスト4まで進出し、閉会時には、大会関 係者から"雑草軍団"の大活躍と報道された時期を契機に、首都近郊に在住する仲間が一堂に会する 機会を作ろうとの機運が高まり、以来10数年間は隔年毎に総会及び懇親会を実施しているところです。

特に本年は、母校球児が甲子園出場したこともあり、大会派遣経費の支援など一致協力して一段と 親密の度合を深めたところです。

しかし、組織結成後日も浅く、他校の運営方法などを参考にして、皆様の御指導をいただきながら、 一段と団結の輪を強化したいと考えております。一層のご交誼の程をお願い申し上げます。

### 由利高校

「ゆりの会」

代表 筒 井 文 子

大正9年本荘町立実科女学校、県立本荘高等女学校、現高校と会員は約9,100名で、本部事務局は 母校内に在ります。

東京支部は幾つかある支部の一つで昭和37年に結成され、現在は関東圏内を中心に3,000名弱で支部長、副支部長、事務局は2学年で1年、1学年ずつスライドして運営される等、少しずつ、改良されておりますが、女子校特有の宿命的な移動(改姓等)が多く正確に把握することが困難になっております。年1回本部総会に出席し、東京支部総会(10月)には会長、事務局幹事、校長先生他をお招きし情報交換をしております。又母校代表(バレーボール、弓道他)が東京での全国大会に出場する時には応援に行きますが、数多くの代表者の中にはVリーグプロ第1の山内美加さんがおります。

同窓会に寄せる思いも少しずつ変化し、会員数増加が総会参加者数に反映しない為、事務局は考慮 しておりますものの、女子の平均寿命が延びる一方の中、先々になって心の許し合える仲間作りの一 助にでもなればと願いつつ、大切に続けていきたいと思っております。

### 湯 沢 高 校

戻る

「東京愛宕会」

会長 佐々木 富 也

湯沢高校は県立中学校県内第7番目の学校として、昭和18年県南地方湯沢に呱々の声をあげました。 同窓会名は愛宕会と称し由来は学校裏山の愛宕神社から命名されております。

卒業生の数1万6千名、在京同窓生4千名、進学校として活躍しております。運動部にも力を入れていますが、現在今一歩といったところでしょう。

愛宕会は湯沢・東京・秋田・仙台の4地区で精力的に活動しています。

東京愛宕会の現況は、経団連副会長、日本生命社長伊藤助成氏、あさひ銀行会長横手幸助氏、国際 経済学者ニューヨーク大、ハーバード大教授佐藤隆三博士等を筆頭に各界の第一線で大いに頑張って います。

批判は控えめに、称賛は惜しみなく、をモットーに互いに励まし社会に役立つ人を育成し応援し、 校名を高めたいと希望しています。

奇数年度は総会年とし11月中に行い、偶数年度は各期、クラス会年として親睦の実をあげており、 両者共定着されています。

これからは更に同窓の絆を強くして都会生活を真の意味で生き甲斐のある人生となるよう支え合って頑張りたいと思います。

### 湯沢北高校

#### 「鈴懸同窓会東京支部」

支部長 大 山 仲 子

湯沢北高鈴懸同窓会東京支部は、3年毎に総会を開催しています。

一昨年平成6年10月、役員を交替しました。会員みんな待ち遠しい総会です。古郷を離れてこの都会の中に、同じ母校を持つ人々が、家庭に職場にそれぞれの分野で生活していることに思いを馳せるとき、自然に連帯感が湧き出るような、とても暖かいものを感じます。同級会の案内が届くと何となくうきうきする昨今です。クラス会も兼ねて行われる総会を、前支部長のあとをひきつぎ、旧交を温め親睦を深め、みんなが楽しめる同窓会にしたいものと新役員一同、次の総会に向けてがんばっています。

### 湯沢商工高校

戻る

「首都圏まほろば会」

幹事長 井上隆夫

「秋高連創立10周年記念」誠におめでとうございます。

我が母校も、お蔭様にて今年創立30周年を迎え、当会としても7月に元赤坂の「明治記念館」に於いて、総会を開催しました。総会には、ご来賓として秋高連の佐々木会長さん、澤木幹事長さん、湯沢北高校の大山支部長さんをはじめ、学校長、本部まほろば会会長のほか、関係各位のご出席と会員合わせて120余名が一同に集まり、式典を盛大に行うことができました。

当会はこれを機に役員の改選を行い、名称も「東京まほろば会」から「首都圏まほろば会」へと改め、会長を三浦芳博氏より受け継ぎ、幹事長は中川建二氏から井上隆夫氏が受け継ぎ、それぞれ今後の結束を誓い合いました。

会として年に2~3度、西川口の健康ランド「川口湯の郷」(経営者の方は羽後町ご出身)にて泊まりがけの役員会を開き、毎年の同窓会の準備や反省会など、知恵を出し合っています。

今後とも、この同窓会の融和・親睦を図るため、新役員と共に一丸となって、より一層努力して行こうと思っております。

是非これからも県内各高校の代表の方々、及び関係各位の皆様方と親密なるおつき合いをいただきまして、秋高連の益々のご発展のため、強いては我が会の発展のためによろしくご交流のほど、お願い申し上げる次第でございます。

### 大 曲 高 校

#### 「青麻会東京支部」

支部長 戸澤昭良

私達大曲高等学校の同窓会は「青麻会」といいます。大曲市の地名の語源である大麻刈に由来する と聞いております。

母校は来年(平成8年)、米寿の歴史を刻むこととなりました。そして、青麻会東京支部の創立は 定かではありませんが、昭和33年に会則が制定されましたので、これを起源としております。

さて、青麻会東京支部の近況といっても、特筆するようなことはありません。活動のメインは東京 支部総会の開催であり、その総会に何人動員できるかが役員と呼ばれる仲間のテーマです。

今年(平成7年)の東京支部総会は、7月2日帝国ホテル「亀の間」にて開催しました。大曲から 青麻会本部会長、母校より学校長、青麻会担当教諭、在京教諭 OB をお招きし、百余人の参加と郷土 のマスコミ(秋田魁新報社)の取材を得て、親睦の一刻を過ごしました。

会終了後は、それぞれ同期の桜が集う二次会を開催したグループも多かったようで、初期の目標が 達成できホッとした次第です。

この総会というビッグイベント (?) での課題は、組織の拡大と内容の充実ですが、いつもスタートラインに居るようで悶々としています。

最期になりましたが、秋高連の発展は底辺を支える私達同窓会の充実にあると考え、各校諸兄姉の 活動を参考にし、今後の運営に当たりたいと思っております。

戻る

### 大曲農業高校

#### 「東京大農会」

幹事 加藤 誠 三

大曲農業高校の首都圏の同窓会は、母体である農友会の支部として発足しました。今年で38回の総会となりました。総会は、毎年6月に開かれ、来賓として農友会長始め、学校長など学校関係者を招いております。

又、社会人1年生となった卒業生についても、激励の意味もこめて招待しております。今年も参加 者は60人前後でした。参加人員が少ないので、いかに多く参加していただくかが課題です。

多様化された社会になり、それにともなって価値観の違う人々が多くなりました。このことも原因の一つではないかと思います。なるべく多くの方々に参加していただくために、セレモニーを短くし、懇親会の時間を長くするなど工夫をしていますが、更に内容を変えて努力しなければならないと思っております。

年令の違う方々との会話や、異業種の方々との交流は当然のことながら良い勉強になります。遊びの機会をつくることや、仕事のつながりが生まれてきて、大変に為になることが広がってきております。このことを強調しながら誰でも気軽に参加できる魅力ある同窓会にしなければならないと思っております。

### 横 善 高 校

#### 「東京美入野同総会

会長 大 坂 頴 一

東京で組織・規約・役員をきめて発足したのが昭和31年5月21日です。

平成8年は東京美入野同窓会が発足して40周年になりますので記念イベントを企画中です。この間会長が11人、幹事長が7人のバトンタッチで運営されてきました。

会報は33回発行し、名簿は10回の改訂を重ねてきました。母校校長は17人の方達と関わりを続けています。

活動の中心は、毎年春と秋に行われる2回の集いを継承しています。春は総会と、3月卒業して進学、就職、予備校等で首都圏に住む後輩達を新入会員として歓迎会を行うことが中心です。そして秋は郷里から「芋の子」「舞茸」「とり肉」「セリ」等を宅配便で前日必着の材料調達をします。

当日同窓生の中にいる調理人によって会場にある厨房で調理します。東京にあって郷里の秋の味覚 を満喫出来るというので大先輩方の参加が春より多い傾向を持っています。

こうしたユニークさを伝承するために本年より役員の中から幹事長を中心に若手クラスの参加力を アップさせるために組織力を充実させるために組織委員会を、第2は会員へのコミュニケーションを 更に徹底すべく会報、情報の充実をはかるために広報委員会を、第3は同窓会運営のベースになるの は精度のよい名簿を持つことなのでこのために名簿委員会をつくりました。これらの諮問機関の連携 による創造と継続の合体によって今後の東京美入野同窓会のアイデンティテーを持ち続けようと努力 をしています。

### 横手城南高校

戻る

「銀杏同窓会東京支部」

支部長 松 田 聡 子

秋高連10周年、おめでとうございます。

私達横手城南高校銀杏同窓会東京支部も、今年で11周年を迎えますので、同じ頃の出発、なつかしい思いがします。

秋高連の歩みは、幹事の方々の熱意と努力によって、1年毎に参加校が増えて、すばらしい、力強 い会になって来たのを嬉しく思います。

城南高校の今年の同窓会は、10月18日、千葉の"ベイヒルトン"ホテルで、120数名の出席者でいたしました。当番の幹事の方々によって、毎年会場が変るのが、また楽しみの一つです。本校から今年は教頭先生、同窓会会長、事務の先生と御出席下さいまして、秋晴れの青い空、青い海を眺めながら楽しい同窓会でした。アトラクションも30期の鎌田さんが浦安の太鼓クラブに入っていらっしゃるので祝い太鼓、浦安太鼓と、地元の方々の協演を得てにぎにぎしく景気よい気分にしてくれました。

又高女35期のプロの西協さんがすばらしい独唱をなさって下さいまして、自前で豪華な同窓会になりました。みんなで青春を楽しみました。

城南高校は女の高校ですので寄付も少なく会員の年会費1人1口1,000円いただいて、経営、運営 を賄っています。やっと軌道にのった感じです。

### 在京秋田県高等学校同窓会連合会会則

- 第1条 本会は、在京秋田県高等学校同窓会連合会(略称・秋高連)と称する。
- 第2条 本会の事務所は、会長宅に置く。
- 第3条 本会は、秋田県高等学校同窓会在京支部の会員を以て構成する。
- 第4条 本会は、会員相互の連絡を密にし、その親睦を図り、秋田県との緊密な連繫をとり、各母校並びに県勢の発展に貢献することを目的とする。
- 第5条 本会は、前条の目的を達成するため、必要に応じて行事を行なう。行事は在京支部の代表者 (委員)による委員会の議を経て之を定める。
- 第6条 本会に、次の役員を置く。役員は委員中から選出する。

 会長
 1 名

 副会長
 若干名

 幹事長
 1 名

 副幹事長
 若干名

 会計
 2 名

 監查
 2 名

第7条 会長は、本会を代表し、本会を統轄する。

副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは之を代理する。

幹事長は、会長の指示に従い会務を処理し、副幹事長は幹事長を補佐する。

役員は、役員会を構成し、本会の重要事項を審議する。

会計及び監査は、各々その職務を担当する。

- 第8条 役員の任期は、4月1日より2年とし再任を妨げない。
- 第9条 役員は、任期満了後でも、後任者が就任する迄は、なおその職責に任ずる。
- 第10条 本会に、顧問及び相談役を置くことが出来る。

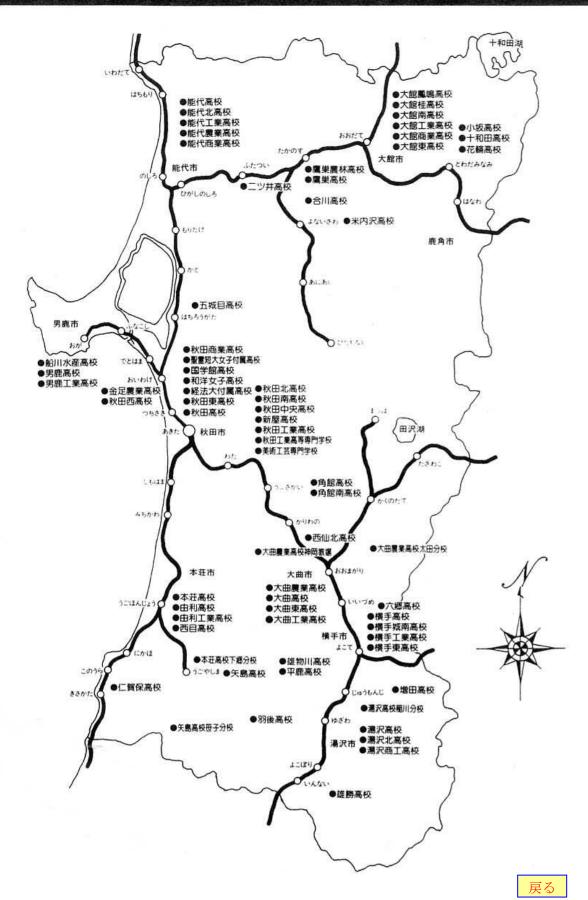
顧問及び相談役は、正、副会長が推薦し、委員会の承認を受けるものとする。

- 第11条 本会は、毎年1回委員会を開き、次の事項を審議する。
  - 1. 行事報告
  - 2. 決算の承認
  - 3. 予算の承認
  - 4. 役員の選任
  - 5. その他重要と認める事項
- 第12条 本会は、必要に応じ総会を開くことが出来る。
- 第13条 役員会及び委員会は、必要の都度会長がこれを招集する。
- 第14条 すべての会議の議長は、会長が之に当る。
- 第15条 本会の経費は、委員会において決定する会費及び寄付金、其の他の収入をもって之に充てる。
- 第16条 本会の会計は、4月1日に始まり3月31日に終わる。

#### (付 則)

- 1. 此の会則は、昭和61年6月9日に制定する。
- 2. 此の会則の一部改正は、平成2年6月28日より施行する。
- 3. 此の会則の一部改正は、平成4年4月1日より施行する。

### 各高校所在地案内図



### 在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連)年表

年 月 日	事 項	会場	摘要			
1982 (昭57) 4月23日	連絡会初会合・発起人会	丸ノ内ホテル "鶴ノ間"	幹事校=秋田(金谷)秋田北(三浦)横手(戸部)鳳鳴(成田)秋商(柴辻)秋工(谷藤)大農			
1983 (昭58) 1月8日	第二回連絡会	小田急ハルク "豪華"	(畠山)本荘(荒川)湯沢(佐々木)能代北(斉 藤)能代工(成田)			
1984 (昭59) 9月21日	第三回連絡会総会	グランドパレスホ テル	佐々木知事, 秋田放送			
1985 (昭60) 10月15日	第四回連絡会総会	市ヶ谷会館	土田防衛大学長 鈴鹿出納長, 秋田テレビ放映			
1986(昭61)11月13日	第一回連絡会(改称総会) 会則、役員決定 初代会長・金谷勇(秋田)	グランドヒル市ヶ 谷	県教育庁・永井隆一 サキガケ支社長・森田昭 各校校歌発表 27校250名			
1987(昭62)11月5日	第二回連合会総会	グランドヒル市ヶ 谷	教育次長・佐々木専造 ソプラノ歌手・吉元恵子 25校200名			
1988(昭63)11月24日	第三回連合会総会 二代会長・畠山達郎 (大 曲農)	グランドヒル市ヶ 谷	副知事・丸山寛 東京事務所長・鈴木再吉 金谷前会長に花束贈呈 花柳徳次海(城南)歌 佐々木一夫(大農)歌 30校・230名			
12月13日	忘年会	新宿アリタリヤ	32名出席			
1989(平成元年) 6 月24日	委員総会 佐々木幹事長提案 略称"秋高連"決定	飯田橋会館	32校40名			
9月5日	隅田川屋形船親睦会	東京湾	23名			
11月20日	第四回秋高連総会	グランドヒル市ヶ 谷	教育長・橋本顕信 花柳徳次梅 踊り 32校250名			
1990 (平2) 6月28日	委員総会 役員改選 全員再選	飯田橋会館	27校38名			
11月27日	第五回秋高連総会 (結成五周年記念)	グランドヒル市ヶ 谷	斉藤出納長 仙南村中田勤村長講演 花柳徳次梅(城南)歌と踊り 合唱 35校350名			
12月24日	忘年会	池袋 小林	記念テレホンカード作成 30名			
1991 (平3) 6月27日	委員総会	飯田橋会館	秋の総会を6月~7月に開催			
7月24日	第六回総会	グランドヒル市ヶ 谷	副知事・池田竹三郎 教育庁参事・岡部宣夫 モダンカンカン・小松千春 植竹恭子 (バスガイド) 30校300名			
19日7日	忘年会	池袋"小林"	35名			

			l	I .	1
1992	(平4)	3月26日	委員総会 第三代会長・佐々木富也 (湯沢)	飯田橋会館	3月7日役員会選挙 会長 参考 三名連記 34校286名
		6月22日	第七回総会	グランドヒル市ヶ 谷	県出納長·斉藤長 県人連合会長·渡部建蔵 県人会幹事長·窪谷政二郎 東京事務所長·佐々木専造 34校286名
		9月20日	旅行	足利学校と豪族料 理	歌・峯、藤高 モダンカンカン・小松千春 24名
		12月1日	忘年会	市ヶ谷・安具楽	45名
1993	(平5)	4月9日	委員総会	理窓会館	29校34名
		5月13日	県東京事務所・秋田魁新 報・役員三者座談会	吾作会館	12校21名
		7月26日	全体総会	グランドヒル市ヶ 谷	岡部教育次長、川越調整主幹、草彅東京 事務所長他8名 33校270名
		12月2日	忘年会	神楽坂	
1994	(平6)	3月26日	委員総会	理窓会館	
		4月19日	知事招待・横手招待・横 手ふるさと村オープン	秋田県横手市	会長·佐々木富也
		7月19日	全体総会	サンケイ会館	佐々木知事、柳田本荘市長、池田教育課 長、大久保課長補佐、草彅東京事務所長 他9名、36校282名
		9月9日	旅行	谷川岳ロープウエ イ・ロックハート 城	22校48名
		12月2日	忘年会	市ヶ谷・安具楽	
1995	(平7)	4月5日	委員総会	理窓会館	31校35名
		6月5日	サキガケ渋谷支店長 歓迎座談会	吾作会館	役員 7名
	2	6月16日	委員総会	理窓会館	余興・花柳徳次梅 モダンカンカン・小松千春 池田教育課長、湯沢市長・二坂信邦 ゲスト、オリンピック金メダリスト・遠 藤幸雄 39校310名
		7月17日	全体総会	グランドヒル市ヶ 谷	# !  #
1995	(平7)	9月22日	委員総会	理窓会館	29校39名
1		12月1日	忘年会	市ヶ谷・安具楽	

## 秋 高 連 **創立十周年記念誌**

平成8年3月21日発行

編集発行 在京秋田県高等学校同窓会連合会

会長 佐 々 木 富 也

〒161 東京都新宿区下落合4-24-12

**☎** 03−3951−1898

印 刷 株式会社 美 巧 社

〒112 東京都文京区小石川 2 - 2 - 14

**☎** 03-3813-8231